

2. 歌の時間

漢字で歌の指導も

“漢字で歌の指導”を行った先生方は、次のようにおっしゃっています。

「歌詞が何番もある歌は、一番、二番くらいは、歌詞をメロディーによく合せて数えるのですが、三番、四番となると、歌詞を暗記していないものですから、かなで書かれてある歌詞を見ながら歌います。

すると、どうしても、歌詞がメロディーからはみ出てしまうのです。曲が終わったのに、歌詞のほうが残っているのです。

ところが、歌詞を漢字で書いて見せると、曲に歌詞がちゃんと来るのです。かなの場合は、練習しても練習しても、なかなかうまくいかないのに、漢字で書き表すと、練習しなくてもぴたっとうまくいくのです。

結局、かな書きの歌詞は、読取れないのです。拾い読みしているので、曲に追付かないのです。漢字で歌詞を書いて歌わせるようになって、歌の指導の能率がとても良くなりました。」

“折紙”などの工作指導の場合にも、漢字を利用できます。図で説明する場合にも、書入れる用語を、「折る」「切る」などと漢字で書いたほうが、一目でパッと判るので効果的です。

組の名前、幼児たちの名前、みんな漢字で書いてください。下駄箱など、かな書きされたものは、みんな同じように見えて、先生が捜し出すのにも骨が折れます。漢字で書いておいたら、すぐ見付けられます。

幼児も、自分の名前などすぐ覚えて、たくさんの友達の中から、容易に自分の名前を捜し出すことが出来ます。また、友達の名前も隣から順々に覚えていき、こんなところから意外に漢字をたくさん覚えるものです。